

活動名	ティーボール				
	野球やソフトボールの入門期の子どもたちのために考案されたスポーツです。ティーにのせたボールを打者が打つことで競技が始まります。				
	○考えた戦略をチーム内で話し、コミュニケーションをとりながら試合をすることで、協調性を育みます。				
活動のねらい					
育つ力、身につく力	協調性・戦略を立てる思考力				
活動条件	実施場所	体育館・講堂		集合場所	実施場所
	所要時間	—		人 数	18 名以上
	開始可能時間	—		対 象	小学生以上
	実施時期	通年		その他	
	職員による指導の内容		こちらは自主活動となります。職員による指導はありません。		
	引率者の役割		活動の説明、進行、安全指導、チーム・対戦順決め		
準備するもの	交流の家で用意するもの（貸出し）			購入していただくもの	
	☆ティーボール用具一式 （バッティングティー、バッド、ティーボール、ベース）			☆1 セット 1,000 円/日（レンタル）	
				団体で用意するもの	
				☆なし	
活動の流れ	活動項目	所要時間	活動内容（例）		
	活動準備	5 分	□必要な用具の準備 →体育館器具室 C の倉庫から出す。 ※器具室 C は施錠しているため、事務室に声をかけ、担当職員と一緒に物品を確認する。		
	活動	70 分	□試合の進め方とルールの確認 ・バッティングの仕方。 ・コートのラインやサイズの確認。 ・攻撃と守備の役割の確認など。 □チームごとにボールの送球の練習 ・投げ方のコツなどをチーム内で共有する。 □対戦スタート ・チーム内で作戦を立てながら試合を進める。 ・対戦のないチームが審判を行うことも可能。		
	ふりかえり	10 分	□対戦を行った感想をチーム内で共有する。 □仲間の良かった点や掛けられて嬉しかった言葉を伝える。		
	活動後	5 分	□物品を片付ける。 ※器具庫 C から出した物品は扉の前に置く。 □活動が終了したことを事務室に伝え、破損等があった場合は報告する。		
注意事項	○ボールを打つ際は、できるだけボールの中心をめがけて打ち、ティー自体に当てないように注意してください。				

ティーボールについて

【コート】

塁間は、10m～14m。本塁をバッティングティーとする。

【チーム】

1チーム9名で編成する。

【試合の進め方】

通常の野球やソフトボールに準じる。攻撃側の全打者が打撃を完了した時点で攻守交代とする方法がある。この場合、残塁走者は直に受け継ぐ。

【ルール】

- (1) 打撃時の軸足の移動は1歩まで。2歩以上動かしたときはストライクとする。
- (2) 打者がボールを打たないで、ティーを打った時は空振りとする。
- (3) ツーストライクからのファールはアウトとする。
- (4) バントは行わない。
- (5) 走者のリード及び盗塁は行わない。打者が打つ前にベースを離れた場合、走者はアウトとなる。
- (6) スライディングは行わない。
- (7) 塁の駆け抜けは認められる。進塁の意思がない場合はベースから離れていてもアウトにはならない。